

## 知財教育メニュー

対象：高校

	タイトル	ねらい	内 容
1	知的財産権制度とは	産業の発達と知的財産権の役割について知り、知的財産権制度の重要性を理解する。	知的財産の内容、保護形態。知的創造サイクルの必要性を解説。 知的財産権制度が国の産業発展にどのように貢献しているかを、過去に活用してきた事例を見ながら説明し、知的財産と特許制度の関係、発明の保護と活用について説明する。
2	いま輝く知的財産	技術により、産業や生活が大きく変革されることを理解し、発明の重要性についての認識を深める。	青色発光ダイオード事件等、タイムリーな話題をとりあげ、知財を巡る時事問題を、解りやすく解説する。その際に、その前提の知識として、知財制度を概説する。また、特許庁の役割、弁理士の役割なども併せて解説し、知財社会の仕組みを知る。
3	国際社会と知的財産	知財に関する国際関係を学習し、技術力、ブランド力の重要性を認識する。 我国における知的創造、その国際的財産権化の重要性を知る。	我国における知財立国、技術創造立国の必要性と、世界各国の知的財産保護の現状を知る。 パリ条約、PCT等のハーモナイゼーション条約を概説し、国際協調の重要性を説く。 発明、著作等知的創造を活発にし、国際的に特許権、著作権等の知的財産権を獲得し、独占的实施あるいは実施許諾により外貨を獲得する道を拓げ、真の知財先進国になるべきことを解説する。
4	特許権者になろう	自分が発明し、特許出願をして、特許権者になるんだという夢を持つ。	発明とは何か。特許を取るにはどうすればよいか。特許権とはどんな権利か。 ヒット商品の、具体例を示しながら解説する。 アイデアの展開方法、特許明細書の書き方、読み方なども解説する。
5	特許権とその活用	強い特許権の取り方と特許権の活用法を知る。 (工業高校向け)	特許権とはどんな権利か、その取り方、活用の仕方を知る。 特許権の基礎は特許明細書の内容にあり、強い特許権とするためにはどんなことに注意すべきか。特許調査、特許マップなども解説。
6	特許紛争劇	特許紛争を疑似体験して、特許制度の仕組みを理解する。	弁理士会の「特許エンターテイメントセミナー」で用いた台本に基づき、生徒数人に台本の読み合わせ形式での紛争劇を自演してもらおう。その都度、弁理士が解説する。また、立場によって、その考え方や対応が異なることを理解し、対審構造の意義を実感する。
7	商標とは	どんなマークが商標登録されるのか、商標権とはどんなものかなど(特に商標制度、更には著作権制度)を理解する。 (商業高校向け)	企業の立場から、商標制度、著作権制度についての仕組みを考える。 架空の企業を想定し、そこで必要な会社名、商品、マーク等を選定するなど、具体例を示しながら、制度を理解する。また、商標の国際化、紛争事例にも触れる。